

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(平成28年11月28日)

項目	ページ
1 平成28年度日本型直接支払の取組状況について 【農地・水保全課】 .....	1
2 鳥取県中部地震発生に伴う農林水産被害について 【とっとり農業戦略課】 .....	2
3 「とっとり肉肉カーニバル2016」の開催結果について 【畜産課】 .....	5
4 鳥取市における高病原性鳥インフルエンザウイルス検出への 対応状況について 【畜産課】 .....	別紙
5 八頭中央森林組合の平成28年度農林水産祭天皇杯受賞について 【林政企画課】 .....	7
6 「とうほくとっとり・苗木の里帰りプロジェクト」の終了について 【森林づくり推進課】 .....	8
7 ズワイガニの水揚げ状況とPRイベントの開催状況について 【水産課、販路拡大・輸出促進課、食のみやこ推進課】 .....	9
8 平成28年度第2回湖山池会議の開催概要について 【水産課】 .....	10
9 マレーシアでの観光物産展等の開催結果について 【販路拡大・輸出促進課】 .....	11
10 「とっとりジビエフェア2016」開催結果について 【食のみやこ推進課】 .....	13
11 鳥取県中部地震復興に係る食のイベント・PRについて 【食のみやこ推進課、販路拡大・輸出促進課】 .....	14
12 平成28年度「夏休みチャレンジ自分で作ろう米飯朝ごはん」 事業に係る個人情報がある県のホームページで閲覧可能な状態 であったことについて 【食のみやこ推進課】 .....	15
13 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】 .....	18

農 林 水 産 部



# 平成28年度日本型直接支払の取組状況について

平成28年11月28日  
農地・水保全課

日本型直接支払の今年度の取組状況がまとまりましたので、その概要を報告します。

## 1 多面的機能支払について

農地維持支払のカバー率(農振農用地面積に対する取組面積の割合)は、昨年度の45%から48%にアップした。(鳥取県農業活力増進プラン:H35目標60%) (単位:ha, %)

区 分	平成27年度			平成28年度			増減		
	組織数	取組面積	カバー率	組織数	取組面積	カバー率	組織数	取組面積	カバー率
農地維持支払	715	14,622	45	753	15,606	48	38	984	3
資源向上支払(共同活動)	471	10,994	34	492	11,442	35	21	448	1
資源向上支払(長寿命化)	484	11,417	35	495	11,742	36	11	325	1

- (\*) 農地維持支払 → 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の基礎的活動に支援【田 3,000 円/10a】
- (\*) 共同活動 → 水路、農道等の軽微な補修、農村環境保全活動(植栽、ビオトープ)等に支援【田 2,400 円/10a】
- (\*) 長寿命化 → 水路、農道等の施設の長寿命化のための補修、更新等に支援【田 4,400 円/10a】

### <今年度の取組結果>

- ①新規着手。【16組織、163ha】
- ②中山間直払活動組織に多面的支払との重複実施を呼びかけ。【25組織、410ha増】
- ③土地改良区に事業参加を要請。【1組織、26ha増(H29検討中4組織)】
- ④畑かん地域や国営造成地を中心とした畑地での推進。【4組織、264ha増(H29検討中2組織)】
- ⑤組織広域化に併せて未着手集落の取込を推進。【17組織→9広域組織△8組織(うち4広域組織で121ha増)】
- ⑥事務の手間を省くため、会計事務の外部委託化を推進。【H29検討中 シルバー人材センター、農業生産法人等】

## 2 中山間地域等直接支払について

既存組織が隣接農地を新たに取込んだこと等により、取組面積が83ha増加した。

区 分	平成27年度		平成28年度		増減		
	組織数	取組面積(ha)	組織数	取組面積(ha)	組織数	取組面積(ha)	増減率(%)
中山間地域等直接支払	635	7,728	633	7,811	△2	83	1

- (\*) 中山間地域等直接支払 → 農業生産条件の不利な中山間地域等と平地との生産コスト差を補填。  
【田 急傾斜(1/20以上): 21,000 円/10a、緩傾斜(1/100以上): 8,000 円/10a】

- (\*) H28 事業要件の緩和 → 国は協定面積が 15ha 以上又は集落連携・機能維持加算に取り組んでいる集落協定が平成 29 年度までに「集落戦略」を作成すれば、耕作放棄地が発生しても協定農地全体の遡及返還から当該農地のみ遡及返還にとどめるよう交付金返還の要件を緩和。

### <今年度の取組結果>

- ①新規着手。【5組織、25ha増】
- ②既存組織による隣接農地の取り込み。【<49組織>、30ha増】
- ③以前、事業を実施していた組織が再開。【2組織、28ha増】
- ④集落戦略作成による体制強化。【<8組織、138ha>】
- ⑤集落戦略作成(H29)を前提とした組織広域化。【12組織→3広域組織 △9組織】

### <参考>農地維持支払と中山間地域等直接支払を併せた両施策での取組面積

(単位:ha, %)

区 分	平成27年度			平成28年度			増減		
	組織数	取組面積	カバー率	組織数	取組面積	カバー率	組織数	取組面積	カバー率
農地維持支払のみ(平地)	328	8,916	27	341	9,490	29	13	574	2
中山間直払のみ(中山間)	248	2,022	6	221	1,695	5	△27	△327	△1
両施策重複(中山間)	387	5,706	18	412	6,116	19	25	410	1
合 計	963	16,644	51	974	17,301	53	11	657	2

## 3 今後の県の対応について

- ①多面的機能支払については、市町村や地域協議会と連携し、来年度からの事業実施を検討されている活動組織が着実に取り組めるよう指導・助言を行っていくとともに、今年度と同様、事業実施が見込めそうなところにポイントを絞り、重点的に推進していくことで取組面積の拡大を図っていく。
- ②中山間地域等直接支払についても、交付金返還の緩和措置が受けられるよう、市町村と連携し、活動組織へ集落戦略の作成を働きかけていくとともに、協定面積が 15ha 以上となるよう組織の広域化を進めながら、その中で協定を取り止めた集落等に事業再開を呼びかけていく。

## 鳥取県中部地震発生に伴う農林水産被害について

平成28年11月28日  
とっとり農業戦略課

平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震により、JA選果場等各種共同利用施設に加え、農地や林道、漁港施設など多くの農林水産関係施設が被災したことから、復旧に向けた国への要望活動など行いました。今後、国事業など活用しながら、早期復旧・復興に向け取り組みます。

### 1. 農林水産被害の概況（H28.11.24現在の主な被害）

大区分	中区分	小区分	被害箇所等	被害額	主な被害内容
農業	農作物	梨（王秋・あたご等）	8.88ha	62,716千円	落果
	農地	農地（水田・畑）	180箇所	180,970千円	水田・畑石積み崩壊、法面崩壊、芝畑の液状化
	施設	ため池	17箇所	165,000千円	天端・法面の亀裂、路肩崩壊
		農道	217箇所	195,980千円	路面の亀裂、法面崩壊
		水路	188箇所	128,601千円	パイプラインの漏水、法面崩壊
		集落排水処理施設	14箇所	41,135千円	施設の地盤沈下、施設の破損
	共同利用	選果場、集荷場	10箇所	281,464千円	建物破損[壁・ガラス割れ、基礎]、選果機破損
		加工施設・倉庫等	11箇所	188,090千円	建物、施設、機械の破損
		粉乳工場	1箇所	28,000千円	工場基礎・建物の破損
林業	林道	林道	12路線	41,516千円	切土法面の崩壊、路面の段差
水産	共同利用	漁協荷さばき所	2箇所	775千円	外壁一部崩落
その他				1,995千円	—
総合計				1,316,242千円	

### 2. 県の対応状況

#### (1) 早期復旧に向けた予算執行

梨生産農家の再生産、選果場等共同利用施設の早期復旧に向け速やかな予算執行を図るため、10月25日、関連予算の専決処分を行った。

#### (2) 国への要望活動（別添資料参照）

被災施設の早期復旧等を図るため、平井知事より農林水産省（10/27 細田政務官、11/3 齋藤副大臣、11/14 山本大臣）へ要望活動を行った。

##### 【主な要望内容】

- ・共同利用施設の早期復旧に向け、地元財政負担を大幅に軽減するための支援を行うこと
- ・県内産梨の情報発信等支援を行うこと
- ・個人農家の農業用施設・機械破損等の被害復旧に向け支援を行うこと

#### (3) その他

今回の地震で影響を受けなかった梨やワインなど、地元産品の販売促進に向けPR活動を行った。

### 3. 今後の対応

- 個人農林漁業者所有施設の被害状況等、市町の協力を得ながら被害内容を早期に把握する。
- 国事業を活用しながら被災施設等の早期復旧を図るとともに、中部農林水産業の復興に向け必要となる県対策の検討を進める（11月21日に鳥取県中部地震復興本部を設置）。

農業被害への支援について

《提案・要望の内容》

- 平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震により、鳥取県内最大の梨生産地域におけるJA選果場施設のほか、大山乳業協同組合の各種乳業施設が被災するなど、今後の梨集荷・選果及び乳製品など農業生産体制への悪影響が想定される。については、早期復旧に向け、JAや県・市町村等の財政負担を大幅に軽減するための支援を早急に行うこと。
- 収穫期を目前とした晩生梨の落果により県内産梨の風評被害が発生することがないよう、首都圏等におけるPR・キャンペーンを行うこととしていることから、フード・アクション・ニッポンにおける応援プログラムなど、国においても情報発信等支援を行うこと。

(鳥取県内における主な農業被害)

1. 農作物

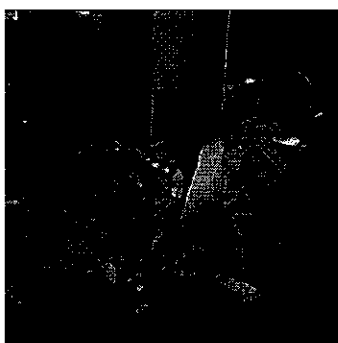
- ・晩生梨(王秋・あたご等)が県内中部地域(倉吉市、湯梨浜町、北栄町、琴浦町等)を中心に平均6割程度落果し、被害額は6千万円を超える状況



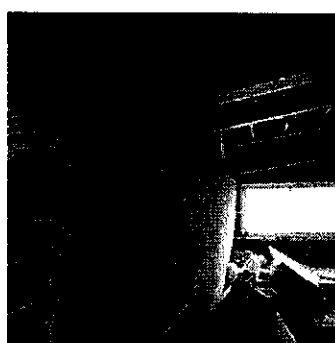
2. 農業用施設被害 (共同利用施設)

- ・県内中部地域における多くの農業用施設に建物損壊、機械設備破損等が発生しており、以下施設を中心に被害総額は5億円にのぼる見込み

施設区分	主な施設	主な被害内容
選果場	倉吉梨、東郷梨、大栄西瓜	建物(支柱基礎等)の損壊、選果機(ライン)の破損
ライスセンター、カントリーエレベーター	秋喜、北条	建物(壁、床等)の損壊、乾燥施設の破損
乳業施設 (大山乳業)	粉乳工場	工場基礎の破損、建物の損壊



倉吉梨選果場 (支柱破損)



倉吉梨選果場 (壁崩落)



東郷梨選果場 (選果機ラインの損壊)

(鳥取県産梨の販売促進キャンペーン)

- ・地震発生に伴う風評被害を吹き飛ばすため、首都圏や関西圏を中心に、「とっとりで待っています!!」キャンペーンを実施し、地震に負けない梨産地をPRした。  
(※10月27日には鳥取県東京アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」、28日にはJR大阪駅でキャンペーン実施)
- ・今回の地震でも落果しなかった「王秋」梨を「合格まちがい梨」として、販売開始する。  
(※11月15日には京橋千足屋大丸東京店と日本橋三越本店で、販売開始プロモーションを行う)



## 「とっとり肉肉カーニバル2016」の開催結果について

平成28年11月28日  
畜 産 課

「鳥取和牛オレイン55」「大山ルビー」「鳥取地どりピヨ」といったブランド肉やジビエなど県産肉にこだわったイベント「とっとり肉肉カーニバル2016」が11月12日、13日に開催されました。

10月21日に発生した鳥取県中部地震により延期開催となりましたが、両日とも晩秋の寒さを感じないほど天候に恵まれ、また12日は近隣の県漁協で開催された「とっとりカニフェスタ2016」の相乗効果もあり、開催3年目の今年は約2万7千人と多くの来場者で賑わいました。

- 1 開催日 平成28年11月12日（土）、13日（日）  
（当初は10月22日、23日を予定）
- 2 場 所 地場産プラザわったいな（鳥取市賀露町西三丁目323番地）
- 3 実施主体 とっとり肉肉カーニバル実行委員会  
（食肉流通業者、飲食店、関係団体等の10会員で構成）

### 4 概 要

#### （1）試食・販売

- ・県産肉の試食では、「鳥取和牛オレイン55」「大山ルビー」「鳥取地どりピヨ」の焼肉及び鹿肉のスマークが提供された（12日）ほか、鳥取和牛のモモ肉丸焼きがふるまわれた（13日）。
- ・県産肉を使用したメニューを販売する飲食店コーナー（屋台）では、26店舗が出店した。出店者からは「賑やかなイベントで楽しかった」「来年もぜひ出店したい」と多くの感想が寄せられた。



#### （2）ソーセージ教室

- ・「手づくりハム工房つくしんぼ」の代表平口氏（若桜町）による、手作りソーセージ教室を行った（13日、午前・午後各1回）。両回とも受付10分程で募集定員に達するほど盛況で、小さいお子様からご年配の方まで幅広く参加され楽しんでもらった。



### (3) 食育学習会

- ・イベントとして、小学生を対象とした「牛肉ができるまで見学ツアー」を7月に実施し、親子25名が参加された。生産農場（見学先：畜産試験場）で見た家畜が、食肉処理施設（見学先：鳥取県食肉センター）でどう処理され店頭で牛肉として並ぶかを学び、昼食では実際に和牛焼肉を食べてもらった。
- ・牛舎に入り近くで和牛を見ること自体初めてという方が多く、いずれの見学先でも今までにない体験ができ、参加者は大変満足されていた。
- ・見学内容を自由研究レポートとしてまとめてもらい、参加者全員から提出された。実行委員会で事前審査し表彰式を行うとともに（13日）、イベント期間中は会場に掲示され、「命の大切さ」「食の大切さ」を来場者に広く知ってもらう機会としていた。

#### 【7月の食育学習会後の感想】

「貴重な体験ができた。いつも何げなく食べているお肉だが、改めて感謝し無駄なく食べようと思った」「牛は人間のためにえさをいっぱい食べてがんばっていると思った」「子どもたちに食の大切さを教えていただきありがとうございます」



### (4) その他

- ・イベント初日は被災地である倉吉市の伝統芸能、たかしろうしおいかけぶし高城牛追掛節（高城牛追掛節保存会）が披露された。子牛役は小学生が担当しており見事な演技で観客を魅了したほか、演目後のインタビューでは代表が「ぜひ倉吉にも遊びに来てください」と締めくり大きな拍手が湧いた。
- ・県産肉の試食提供前に各協議会のPRタイムが設けられ、これから試食してもらう各食肉（鳥取和牛オレイン55、大山ルビー、鳥取地どりピヨ、ジビエ）の紹介が行われた。
- ・お子様も参加しやすい、食肉に関する〇×クイズ「肉肉〇×クイズ」が両日行われた。飲食スペースの来場者がギャラリーとなり、和やかな雰囲気の中楽しまれていた。





# 八頭中央森林組合の平成28年度農林水産祭天皇杯受賞について

平成28年11月28日  
林政企画課

八頭中央森林組合が、農林水産祭参加行事で農林水産大臣賞を受賞したもののなかから最も優れたものとして選ばれる天皇杯を受賞し、平成28年11月23日（水・祝）に明治神宮会館で開催された農林水産祭において表彰されました。

天皇杯受賞者は、平成29年1月頃、皇居宮殿にて天皇皇后両陛下に拝謁し、受賞に対するお礼言上を行う予定です。

## 1 受賞の概要

(1) 受賞団体 八頭中央森林組合

### (2) 受賞理由

- ・集落を糸口に施業の集約化を進め、施業に当たって、境界の明確化と間伐材生産を一体的に行った。
- ・森林組合と異業種からの新規参入者・小規模林業事業者との役割分担を明確にし、労務体制や機械・装備など事業者にあった効率的な運用による生産体制を構築した。
- ・月次決算制度の導入により、短期間での木材生産コスト、経営状況の把握を可能とし、確実な施業の進捗管理を行うことで低コスト化を実現した。
- ・プランナー（施業提案書を森林所有者に提示し、森林施業の集約化を進める者）をはじめとした人材の育成と、成果主義の徹底により職員の「やる気」を引き出し、組織の活性化に繋がった。

### (3) 林業分野における過去の本県天皇杯受賞

本県における林業分野の天皇杯受賞は、昭和39年以約来半世紀ぶりの快挙である。

※過去の受賞者：山本 晃氏、出品財：苗ほ（昭和39年）



受賞された八頭中央森林組合前田代表理事組合長と砂場総務部長

## 2 農林水産祭及び天皇杯について

### ○農林水産祭

国民の農林水産業と食に対する認識を深め、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会が共催により実施。

### ○天皇杯

毎年、農林水産関係団体等が「農林水産祭参加行事(約300行事)」として開催された行事において、農林水産大臣賞(約500点)を受賞したもののなかから選賞、授与される。

※天皇杯はスポーツ及び農林水産業の振興のため、特に業績のあった最優秀者に対して授与されるものであり、サッカー、相撲、競馬などの天皇杯(賞)と同じ。

※現在、26個の天皇杯が宮内庁を通じて各種の所管団体に下賜されている。

### 【参考】公益財団法人日本農林漁業振興会とは

○設立：昭和37年

○設立目的

- ・農林水産祭の開催を通じた全国民の農林水産業に対する普及啓発の推進
- ・農林水産祭の開催、顕彰による農林水産業者の技術及び経営の振興
- ・農林水産業の生産性の向上及び農林水産業者の所得の増大、国民経済の発展

# 「とうほくとっとり・苗木の里帰りプロジェクト」の終了について

平成28年11月28日  
森林づくり推進課

本県では、平成24年度に東北三県から託された種子を県内で育成し、その苗木を東北へ里帰りさせる取組を、平成25年5月26日に開催した第64回全国植樹祭において東日本大震災の復興支援の一助として全国発信するとともに、被災地の方への励ましと支援の輪の拡大を図ってきたところです。

先般、福島県で開催された「第14回うつくしま育樹祭」に安養寺農林水産部次長をはじめ、鳥取市立神戸小学校及び湯梨浜町立羽合小学校のみどりの少年団の代表が苗木を里帰りさせ、これをもって本プロジェクトが終了しました。

## 1 苗木の里帰り実績

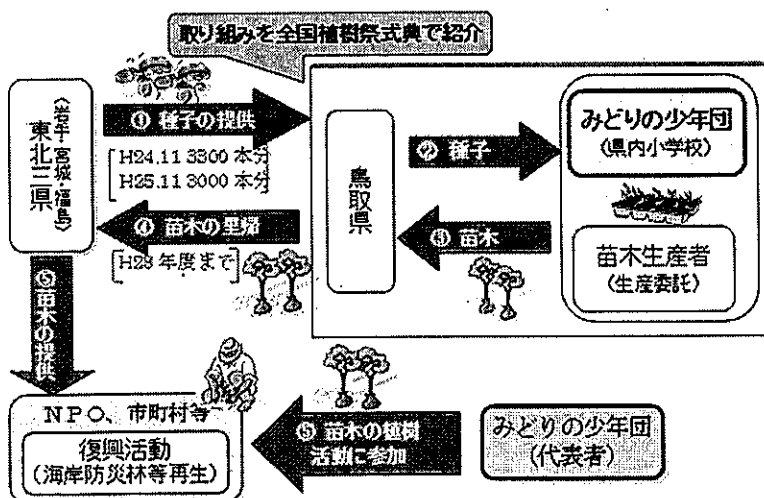
- ・平成25年度から東北3県に12回訪問し、延べ19校・72名のみどりの少年団を派遣。
- ・種から育て上げた6,300本の苗木が里帰りし、海岸防災林等の再生を支援。

(単位：本)

県名	樹種	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
岩手県	コナラ	200	900	-	1,000
福島県	クヌギ、ケヤキ、コナラ	200	350	550	1,000
宮城県	クヌギ、ケヤキ、コナラ、クリ	200	900	1,000	-
計		600	2,150	1,550	2,000

## 2 本プロジェクトの成果

- ・県内22小学校で数年間苗木を育成し、緑を育む心と東北支援の輪を広げた。
- ・現地では、地元の方々と一緒に植樹活動を行いながら交流を深めるとともに、鳥取県の取組が広く報道された。
- ・東北に派遣された児童は、現地で震災に関する学習を行うとともに、学習の成果を全校集会等で報告するなど教育の一助となり、学校現場からも本プロジェクトが高く評価された。



平成28年11月12日 第14回うつくしま育樹祭

## ズワイガニの水揚げ状況とPRイベントの開催状況について

平成28年11月28日  
水産課  
販路拡大・輸出促進課  
食のみやこ推進課

ズワイガニ漁が11月6日に解禁となり、特選とっとり松葉がに五輝星の初競りが行われました。また、今年、鳥取県中部地震の被災地復興に向けて関係部局が連携し、本県の観光と食の魅力を発信する「とっとりで待っとなります!!」PRイベントを開催しましたので、その状況を報告します。

### 1 ズワイガニの水揚げ状況（解禁から1週間）

年度	集計期間	水揚げ量(kg)			水揚げ金額(千円)			平均単価(円/kg)		
		松葉がに	親がに	合計	松葉がに	親がに	合計	松葉がに	親がに	合計
28	11月6~13日	41,069	136,908	177,977	191,446	220,614	412,060	4,662	1,611	2,315
27	11月6~13日	56,849	139,757	196,606	220,547	200,170	420,717	3,880	1,432	2,140
対前年増減		△15,780	△2,849	△18,629	△29,101	20,444	△8,657	782	179	175
前年比(%)		72.2	98.0	90.5	86.8	110.2	97.9	120.2	112.5	108.2

### 2 特選とっとり松葉がに五輝星の水揚げ状況（解禁から1週間）

年度	区分	水揚げ枚数	水揚げ金額(円)	平均単価(円/枚)
28	11月6~13日	46	2,514,000	54,652
27	11月6~13日	68	2,719,500	39,993
対前年増減		△22	△205,500	14,659
前年比(%)		67.6	92.4	136.7

- 最高値は11/7に賀露に水揚げされた1枚  
(重量1.28kg 甲幅14.5cm)で、130万円(H27は70万円)  
落札者 株式会社中村商店(代表取締役社長 中村俊介)  
※とっとり賀露かんにて館に寄贈いただき、史上最高値の松葉がにとして公開中

#### 【主なズワイガニの初競り状況】

- ・越前ガニ「極」 370,000円/枚(過去最高値)
- ・京都府北部(間人港含む) 500,000円/箱(5匹)(過去最高値)
- ・浜坂漁港 330,000円/枚(過去最高値は今年の400,000円)
- ・柴山港(柴山ゴールド) 169,170円/枚(過去最高値)

#### ※特選とっとり松葉がに五輝星の基準

- ①大きさ：甲幅13.5センチ以上
- ②重さ：1.2kg以上
- ③形状：脚が全てそろっているもの
- ④色合い：鮮やかな色合い
- ⑤身入り：身が詰まっていること



### 3 ズワイガニ関連「とっとりで待っとなります!!」PRイベント

#### (1) 県内イベント

- 田後港大漁感謝祭、鳥取かにフェスタ2016(11/12)
- 食のみやこ鳥取県大漁収穫感謝祭(11/13、11/19、11/20)
- 県中部の小学校(倉吉市立西郷小学校)学校給食へのカニ汁提供(11/17)

#### (2) 県外イベント

- アンテナショップでの「とっとり松葉がに」のPR(11/6-13)
- 加西サービスエリアでの観光PR(11/12)
- JR名古屋駅コンコースでのかにフェア・観光PR
- 名古屋タカシマヤ 松葉がに即売会(11/12、13)
- 日本橋三越松葉がにフェア(11/16-20)
- 天下の台所大阪まつりでのかに汁販売(12/17、18)など
- イオン広島府中店での観光キャンペーン、県産品の販売(11/18-)
- 鳥取県フェア松葉がに祭りIN堺(11/19)
- (株)光洋での松葉がに、親がにPR販売(11/20)
- 30回記念特別企画OBCラジオまつりでのかに汁販売、PR(11/23)
- 秋田・鳥取海の幸フェアハタハタフェスティバル(11/25-26)
- 阪神百貨店梅田本店での松葉がに、親がにPR販売(11/26)など

#### (3) メディア活用

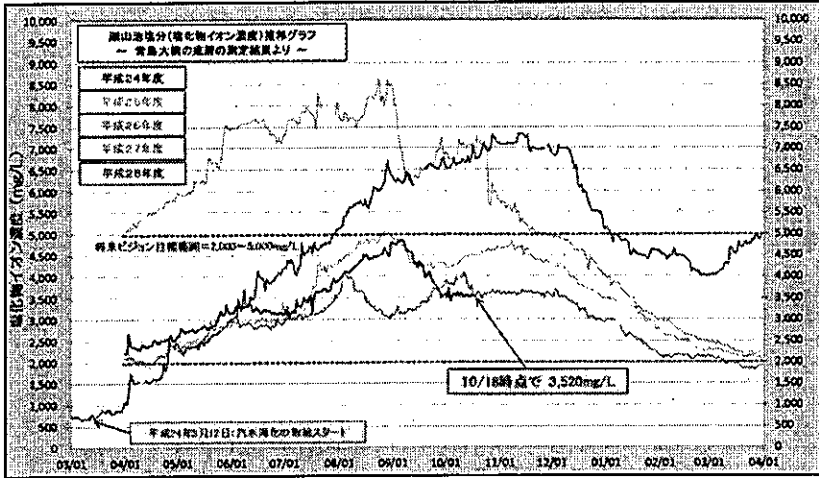
- 東京のPR会社を活用して首都圏の各種メディアに取材を呼びかけるリリースを発信(11/4)
- DW(ディスカバーウエスト)観光素材説明会(11/7、11/30)
- 岡山・広島メディアキャラバン(11/10-11)

# 平成28年度 第2回 湖山池会議の開催概要について

平成28年11月28日  
水・大気環境課  
河川課  
水産振興局水産課

10月20日(木)に平成28年度2回目の湖山池会議を開催したので、その概要を報告する。  
(出席者: 県 野川統轄監ほか関係部長、市 羽場副市長ほか関係部長)

## 1 平成28年度上半期の水質状況報告



- 7月から8月中旬にかけて、例年に比べ降水量が少なかったが、溶存酸素の確保に最大限配慮したきめ細やかな水門操作を実施し、塩分濃度の上昇は昨年と比較して緩やかとなった。
- 9月には平年の2倍以上の降水量があり、塩分濃度は下降に転じた。  
→将来ビジョンに定める 2,000~5,000mg/L の範囲で推移した。

■過去の降水量データ (mm) @湖山観測所

	H25年	H26年	H27年	H28年	平年値
04月	73	65	151	113	80
05月	31	81	73	71	107
06月	104	116	132	135	131
07月	75	85	102	69	192
08月	302	347	123	126	108
09月	325	86	171	330	144
10月	301	216	34	57	136
11月	137	113	147		137
12月	207	123	197		186

## 2 水産業振興についての報告

### (1) シジミ漁獲量の減少について

- 平成27年にシジミの推定資源量の半分以上を漁獲したこともあり、平成28年の春から夏にかけての漁獲量は前年同期比でおよそ2~3割にとどまった。平成25年の塩分濃度の異常な上昇や、コイによる食害等のため、同年に生まれた稚貝の生き残りが少ないこと及び取りすぎが主な原因と考えられる。
- 平成28年の推定資源量は、昨年に比べ、重量比で2割程度減少しているが、個体数は4倍近くに増加している。適切な資源管理を行えば平成29年以降には漁獲量の回復が見込まれる。

### (2) シジミ漁業の振興策について

- 天然採苗稚貝の放流事業を実施中(池内を浮遊するシジミの幼生を採苗器で採取し、生育に適した水域に放流することでシジミの増殖を図る。)

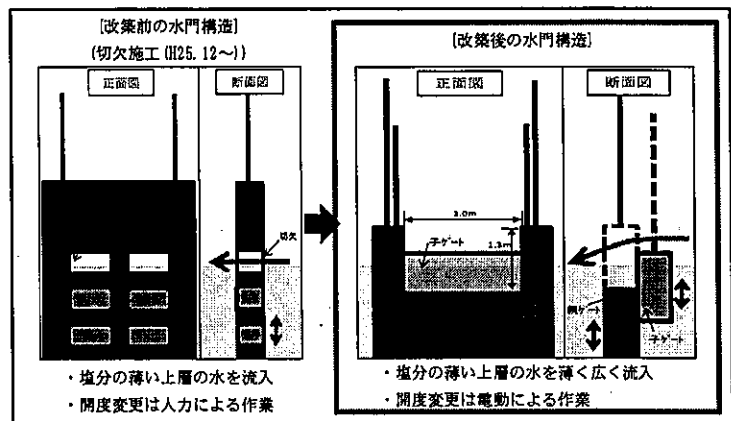
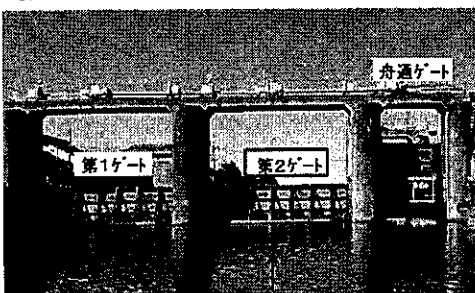
### (3) 覆砂効果の調査

- 水産資源増殖のため、覆砂をした区域(覆砂区)と覆砂をしていない区域(非覆砂区)で、シジミの生育状況及び底質改善効果を検証し、比較したところ、覆砂区は非覆砂区に比べてシジミの生息密度が高かった。また、底質環境も覆砂により改善傾向がみられた。

## 3 湖山水門の改築についての報告

- 塩分濃度が低く、溶存酸素が多い表層部分を薄く広く流入できるオーバーフロー構造で改築することにより、塩分上昇の抑制と溶存酸素の確保の面で改善効果が見込まれる。
- 開度変更の操作が電動で行えることから、より迅速な水門操作が可能となる。
- 水門部分改築工事期間中は、第2ゲートに切欠を施し、現行と同様にきめ細やかな操作を行いながら平成29年5月の工事完了を目指す。

[現在の湖山水門状況写真]



## マレーシアでの観光物産展等の開催結果について

平成28年11月28日  
販路拡大・輸出促進課  
観光戦略課

訪日観光客数が伸びているマレーシア市場における本県農林水産物等の輸出促進と観光客誘致を図るため、クアラルンプール市内において、レセプション、観光物産展、レストランフェア等を実施しました。

### 1 鳥取県の食と観光を楽しむ会（レセプション）

- (1) 日 時 平成28年11月10日（木）正午～午後2時
- (2) 会 場 ヒルトンクアラルンプール
- (3) 出席者 57名（マレーシア政府観光局、在マレーシア日本大使館、ジェットロクアラルンプール、テレビ局、新聞社、ブロガー、バイヤー、レストランシェフ、物産展出展事業者）
- (4) 内 容

翌日から同ホテル内のレストランでスタートする鳥取フェアの料理を提供しながら鳥取県の食と観光の魅力を紹介し、同じく翌日から伊勢丹 KLCC でスタートする観光物産展の出展商品の紹介も行い、各イベント情報を効果的に発信した。

#### (5) 成 果

- ・マレーシア政府観光局幹部が出席したことでマスコミの注目度が高まり、多くのメディアが取材に訪れた。（マレーシアで発行部数 No. 1 の英字新聞「THE STAR」など）
- ・マレーシアの国営放送（RTM TV1）が観光物産展も含め取材に訪れ、特集番組を放映した。
- ・現地バイヤーのほかレストランシェフも招待し、県産品を使った料理を試食してもらうことで、BtoBでの販路開拓を行った。

### 2 鳥取県観光物産展

- (1) 期 間 平成28年11月11日（金）～20日（日）10日間 ※11日に開幕セレモニーを実施
- (2) 会 場 伊勢丹 KLCC B1 食品売場催事場及びび入口ステージ
- (3) 出展事業者 7社（うち渡航した事業者は5社）

事業者	所在地	主な商品
広岡農場	鳥取市	王秋梨、新興梨、富有柿、梅ジュース、白ネギ、砂丘長芋
中村商店	鳥取市	干しはたはた、いか浜焼き、焼きガニせんべい
長田茶店	米子市	大山抹茶ラテ、大山みどり、大山茶そば、砂丘長芋そば
梅崎水産	境港市	ベニズワイガニ、松葉ガニ、かに大福、かに甲羅ずし
日本食品工業	境港市	かつおだし、醤油、みそ汁
梅津酒造	湯梨浜町	日本酒、梅酒、長芋焼酎、酒器
大山乳業	琴浦町	アイスクリーム、梨シャーベット、ソフトクリーム

#### (4) 売れ行き状況（売上げ結果は現在集計中）

- ・梨（新興1玉22リットル（550円）、王秋5玉入りギフト箱208リットル（5,200円））がコンスタントに売れており、高級フルーツとして富裕層に受け入れられている。
- ・大山乳業のアイスクリーム（15.5リットル（387円））が昨年以上に売れ行き好調。

#### (5) 観光PRブース

コナン、鬼太郎とのフォトセッションが好評で、県紹介パンフレット配布も好調。

### 3 レストランでの鳥取県フェア

- (1) 期 間 平成28年11月11日（金）～25日（金）15日間
- (2) 会 場 ヒルトンクアラルンプール内のレストラン2店舗（日本料理店、広東料理店）
- (3) 客の反応 鳥取御膳（ベニズワイ、天ぷら、かにご飯等のセットメニュー 360リットル（9,000円））、鳥取果物盛り合わせ（梨、柿、シャインマスカット 88リットル（2,200円））が好評。

#### 4 観光関係者との意見交換

##### (1) マレーシア政府観光局との意見交換(11月9日)

- ・鳥取県には、マレーシア人が好むもの(新鮮な果物、雪、砂漠、名探偵コナン)が全て揃っていることに興味を持っていただき、今後、米子香港便のトランジットを活用した双方のインバウンド・アウトバウンドの促進について情報交換を図ることとなった。

##### (2) 訪日最大手旅行会社アップルパッケージ&コンベンションズのコー社長との意見交換(11月10日)

- ・同社には平成27年度から鳥取県を訪問するツアーを催行していただいている。同社には、本年9月企業報奨ツアーを催行し、約80名ものマレーシア観光客を本県へ送客している実績を確認できた。来年、タイ航空のチケットを活用した鳥取視察ツアーを希望されるなど、本県への更なる誘客に向けた積極的な連携を強化することができた。

# 「とっとりジビエフェア2016」開催結果について

平成28年11月28日

食のみやこ推進課

鳥取県中部地震復興プロジェクトとして下記のとおり「とっとりジビエフェア2016」を開催し、首都圏シェフやバイヤー等を招へいし、とっとりジビエや県産食材をPRするとともに、ジビエをキーワードに「元気な食のみやこ鳥取県」を発信しました。

## 記

### 1 とっとりジビエ活用推進セミナー

(1) 日 時 11月5日(土) 16時～17時40分

(2) 場 所 ホテルニューオータニ鳥取(はまなす)

(3) 主な内容

- ・「ジビエ利活用の推進と実証実験の検討状況等について」  
農林水産省農村振興局農村環境課鳥獣対策室室長 秋葉 一彦(あきば かずひこ)氏
- ・「ジビエ移動式解体処理車と日本ジビエ振興協議会の取組について」  
日本ジビエ振興協議会理事長 藤木 徳彦(ふじき のりひこ)氏
- ・「ジビエ活用の先進地事例紹介」  
信州富士見高原ファーム(長野県諏訪郡富士見町) 戸井口 裕貴(といぐち ゆうき)氏

(4) その他

鳥取駅前パードハットで、ジビエ移動式解体処理車展示及びジビエ商品等の販売や鹿加工品の展示。

### 2 とっとりジビエの夕べ(夕食会)

首都圏シェフ及び県内シェフ等へのとっとりジビエ及び県産食材の素晴らしさを伝えるため、全国的にもジビエ料理に定評がある「パッソ・ア・パッソ」有馬邦明(ありま くにあき)シェフのイタリア料理と「ホテルニューオータニ鳥取」西村隆章(にしむら たかあき)総料理長のフランス料理とのコラボで高級感あふれるジビエ料理を提供。また、日本猪牧場(倉吉市)のイノシシ肉、西河商店(倉吉市)のわさび、北条ワイン(北栄町)など県中部の食材を積極的に活用し「元気な食のみやこ鳥取県」をPRしました。

(1) 日 時 11月5日(土) 18時～20時

(2) 場 所 ホテルニューオータニ鳥取(鳳凰の間)

(3) 出席者 石破 茂 捕獲鳥獣食肉利活用推進議員連盟(以下「ジビエ議連」)会長  
平井 伸治 鳥取県知事  
秋葉 一彦 農林水産省農村振興局農村環境課鳥獣対策室室長  
藤木 徳彦 日本ジビエ振興協議会理事長  
首都圏・県内シェフ・バイヤー等 計39名

### 3 わかさ29工房等の現地視察

首都圏シェフから高い評価を受けている解体処理業者「わかさ29工房」河戸健(かわと つよし)氏と「パッソ・ア・パッソ」有馬邦明シェフの解体処理の様子を首都圏からのシェフ等に視察していただき、とっとりジビエの魅力をPRするとともに、シェフの立場から見たシカ肉の活用方法等について意見交換や販路拡大に向けた商談を行いました。あわせて、大江ノ郷自然牧場、道の駅きなんせ岩美等の視察により、「元気な食のみやこ鳥取県」をPRしました。

(1) 日 時 11月6日(日) 9時～18時

(2) 出席者 首都圏シェフ・バイヤー等 15名

(3) 主な視察箇所 わかさ29工房、大江ノ郷自然牧場、きなんせ岩美

主催 鳥取県

後援 NPO日本ジビエ振興協議会

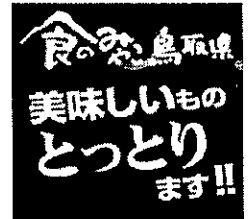
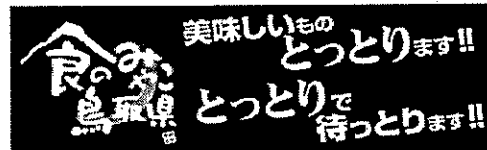
協力 若桜町 (株)鳥取銀行 (株)三菱東京UFJ銀行

## 鳥取県中部地震復興に係る食のイベント・PRについて

平成28年11月28日  
食のみやこ推進課  
販路拡大・輸出促進課

鳥取県中部地震復興プロジェクトとして、下記イベント等により、県中部の農林水産物の試食販売等や、鳥取県の食の魅力のPRを図るとともに、県外からの誘客に向けた取組を行っています。

- 県外からの誘客を促進するため、「美味しいものととります!!ととりに待っています!!食のみやこ鳥取県」のPOPを作成し、県外のイベント等で掲出。



### ○主なイベントの状況

日付	イベント名等	場所	内容
11月12日(土) 13日(日)	鳥取は元気です!買って食べて応援!中部の農産物	マリンピア賀露	「鳥取かにフェスタ2016」(11/12)「とっとり肉肉カーニバル2016」(11/12-13)の開催に併せ、王秋梨などの県中部の農林水産物を試食販売。
11月15日(火) ~	「合格まちがい梨」の販売	京橋千疋屋(3店舗)、日本橋三越(東京都)	鳥取県中部地震で落ちなかった梨(王秋)を、三徳山投入堂のお守り、開運八社巡りの手ぬぐいなどとともに、3,939円(さくらさく)で販売。
11月15日(火) ~29日(火)	鳥取県産食材レストランフェア	銀座・新橋周辺のレストラン10店舗(東京都)	鳥取和牛を使用して、日本料理、イタリアン、フレンチの10店舗でレストランフェアを開催。今後、関西の3店舗、名古屋の3店舗でのレストランフェアの開催も調整中。各店舗にて、「ととりに待っています」チラシを配付。
11月22日(火)	「砂丘 ~ととりの絆~」発売開始	北条ワイン醸造所等	鳥取県中部地震に耐え、割れなかったワイン「砂丘」の紅白セットに白兎神社のお守り付。値段は税込み8,810円(ハッピーハート)。
11月25日(金) ~26日(土)	秋田・鳥取 海の幸フェア ハタハタフェスティバル	築地魚河岸(東京都)	「美味しいもの ととります!!食のみやこ鳥取県ブース」を設置し、県中部の産品を販売。
11月21日(月) ~28日(月)	コカ・コーラ社員食堂で鳥取県特産品を使ったメニューの提供	コカ・コーラ本社(東京都)	11月28日に発売予定の「い・ろ・は・すなし」の発売(11/28)に併せて、左記鳥取県中部地震復興イベントを実施。
11月28日(月)	鳥取県特産品の社員向け鳥取県フェア		



平成28年度「夏休みチャレンジ自分で作ろう米飯朝ごはん」事業に係る  
個人情報に関するホームページで閲覧可能な状態であったことについて

平成28年11月28日  
食のみやこ推進課

県では地産地消を推進するため「夏休みチャレンジ自分で作ろう米飯朝ごはん」事業を実施しており、例年応募作品を県ホームページで公開しています。本年度の応募作品(901名分)を11月14日(月)に公開しましたが、11月16日(水)に応募者(小学5年生及び6年生)の保護者の氏名、住所等の個人情報が掲載されていることが判明しました。このことを受け、県では速やかに当該作品の非公開措置を行うとともに、関係者の皆様(保護者、小学校、市町教育委員会等)に文書等により謝罪を行いました。対応状況等については、下記のとおりであり、該当小学校等を訪問して謝罪を行いました。

記

1 掲載されていた個人情報の内容 (詳細：別紙のとおり) (単位：名)

学校数	保護者名	住所	電話番号	保護者名及び住所	保護者名及び電話番号	住所及び電話番号	保護者名、住所及び電話番号	合計
39	186	2	1	16	12	4	72	293

2 原因

- ホームページに掲載する内容は、委託業者が個人情報(保護者名、住所、電話番号)を削除したデータをアップロードすることとしていますが、当課職員が上記個人情報が削除されていることを十分に確認しないまま、ホームページに公開してしまったものです。

3 経緯及び対応状況

- 11月14日(月) ホームページに応募作品を公開(17時頃)
- 11月16日(水) 県民課へ「県のホームページ上に個人情報が出ている」とのメールあり(14時頃)⇒速やかに非公開措置(14時10分頃)
- 11月17日(木) 該当小学校や所管市町教育委員会等へ電話で状況説明と謝罪をし、謝罪文書等を該当小学校等へファクシミリで送信
- 11月18日(金) 謝罪文書を該当小学校、市町教育委員会及び応募者の保護者へ送付するとともに、該当市町教育委員会や小学校へ謝罪のための訪問を開始  
※該当小学校はファクシミリを受け、対象児童(応募者)を通じて保護者への謝罪文書を手交(一部保護者への直送あり)
- 11月21日(月) 報道機関へ資料提供及び謝罪の記者会見を実施

4 対応状況

- 該当市町教育委員会及び小学校を直接訪問して謝罪を行った。
- 課内に相談窓口を設置し、該当者等からの相談等に対応。  
⇒ 市場開拓局食のみやこ推進課 塗師木、堀田 (電話：0857-26-7834)
- 今後は、応募用紙の個人情報記載欄(保護者の氏名、住所、電話番号)を削除する。
- 再発防止のため、「鳥取県ウェブサイト事務取扱要綱」を徹底するとともに、ホームページ掲載など対外的に公表する資料については必ず事前に所属長等の決裁を受ける。
- 職員に対する個人情報管理の徹底を図る。  
※ 現在のところ個人情報漏洩に関連した被害等の情報は入っていない。

【参考】「夏休みチャレンジ自分で作ろう米飯朝ごはん」事業の概要

- ・地産地消推進と県産米をはじめとした県産食材の消費拡大及び食育推進を図るために平成21年度から実施(県内の小学5、6年生対象)。
- ・応募者は、夏休み中の2日間に米飯を使った朝ごはんをつくり、応募用紙に写真貼付、感想を記載し提出。応募には、朝ごはん県産米と米以外の県産品2品以上を使用することが条件。
- ・応募者全員に各小学校を経由して、認定証書及び記念品を交付。
- ・応募作品は、県内の商業施設や公共施設等で展示するほか、鳥取県ホームページに掲載。

(別紙)

## 掲載されていた情報(内訳)

(単位:名)

市町村	学校数	保護者名	住所	電話番号	保護者名及び住所	保護者名及び電話番号	住所及び電話番号	保護者名、住所及び電話番号	合計	
中部	倉吉市	7	39	0	0	1	2	0	6	48
	湯梨浜町	2	56	0	0	7	5	1	17	86
	三朝町	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	北栄町	2	30	1	0	2	1	0	14	48
	琴浦町	2	1	0	0	0	0	1	0	2
	小計	14	127	1	0	10	8	2	37	185
西部	米子市	13	10	0	0	1	2	0	7	20
	境港市	4	21	0	0	3	1	0	12	37
	南部町	2	8	1	1	1	0	1	4	16
	伯耆町	2	13	0	0	1	1	0	10	25
	大山町	2	2	0	0	0	0	1	1	4
	日南町	1	4	0	0	0	0	0	1	5
	日野町	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	小計	25	59	1	1	6	4	2	35	108
合計	39	186	2	1	16	12	4	72	293	

※誤って公開された個人情報記載部分

※学校を通して応募される場合は、住所および電話番号の記入は不要です。

保護者氏名： \_\_\_\_\_ ※住所：〒 \_\_\_\_\_ ※電話番号：( ) \_\_\_\_\_

当てはまるものに○をしてください。(その他の場合は、具体的に記入してください。)

★いつも朝ごはんの主食はどんなものを食べていますか？【 米飯 ・ パン ・ その他 ( ) ・ あまり食べない 】

★今回の朝食の主食に使った鳥取県産米は、どんな品種ですか？【 こしひかり ・ ひとめぼれ ・ きぬむすめ ・ その他 ( ) 】

点線より上は表示・公開しません。

本来公開すべき部分 夏休みチャレンジ自分で作ろう米飯朝ごはん応募用紙

※名前は漢字とふりがな、どちらも書いてください

ふりがな  
名前： \_\_\_\_\_

小学校名： \_\_\_\_\_ 年生

【日付】 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 曜日)

【献立】 \_\_\_\_\_

この朝食を作る時に使った食材について調べてみましょう。

米以外に使った食材を記入し、鳥取県産のものに○をしてください(※)

自分で作った米飯朝ごはんの写真を撮って  
ここに貼りつけてください。



【日付】 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 曜日)

【献立】 \_\_\_\_\_

この朝食を作る時に使った食材について調べてみましょう。

米以外に使った食材を記入し、鳥取県産のものに○をしてください(※)

自分で作った米飯朝ごはんの写真を撮って  
ここに貼りつけてください。



<記入例>

米以外に使った食材を記入し、鳥取県産のものに○をしてください(※)

たまご (○) なす (○)  
みそ (○) バナナ

(注)○印をつける鳥取県産の食材は、次のような食材です。

県産農林水産物	(例) 野菜、果物、きのこ、魚、牛肉、豚肉、鶏肉、たまご 等
県産農林水産物を使用した加工食品	(例) トマトケチャップ、干しいたけ、あごちくわ、板わかめ 等
県内で製造された加工食品	(例) とうふちくわ、塩サバ、醤油、鳥取県ふるさと認証食品 等

【児童自身の感想】 ○○○を一番工夫しました。作ってみて楽しかったです。など自由な感想を書いてください。

---

---

---

---

【保護者の感想】

---

---

---

---

見つけた鳥取県ふるさと認証食品の名前を書きましょう。



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成28年11月28日  
農地・水保全課

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	備考
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	養波地区ため池(上鳥池) 改修工事	車伯郡 琴浦町 杉下	有限会社 共栄組 代表取締役 山崎 稔	114,480,000円 (設計額 122,290,550円) 落札率 93.61%	平成28年10月25日 ～ 平成29年11月22日	平成28年10月25日	【工事内容】 堤長 138.7m、堤高 8.9m、貯水量 7.4万m <sup>3</sup> 堤体盛土工 V=3,016m <sup>3</sup> 刃金土盛土工 V=2,860m <sup>3</sup> 法面保護工 A=1,058m <sup>2</sup> 法先ドレーン工 L=20.0m 取水施設工 L=74.1m 取水吐工 1式 仮設工 1式 底層、斜層、緊急放流工 1式	制限付一般競争入札 4社 平成28年10月14日 開札